7月1日㈰～31日㈫は

社会を明るくする運動強調月間

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ

問合せ　福祉課保護係

「社会を明るくする運動」は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪のない地域社会を築こうとする全国的な運動です。

７月を強調月間として、保護司会や更生保護女性会が中心となり、市内各所での街頭広報活動を始めとするさまざまな啓発活動を行います。

更生保護の担い手とは

【保護司】

犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支えるボランティアです。保護観察対象者の生活環境の調整や、犯罪予防活動に取組んでいます。

【更生保護女性会】

女性の立場から、地域における犯罪予防の活動や子どもたちの健全育成のため子育て支援活動などを行うボランティア団体です。

活動について

伊藤金次（保護司）

「こんにちは。社会を明るくする運動です。よろしくお願いしまーす。」繰り返し声を出しながら、標語入りのタオルを買い物帰りのお客さんに配っていきます。

これは、昨年の社会を明るくする運動街頭啓発活動に参加した、中学生ボランティアの作文の冒頭です。この生徒は「知ってもらうことの大切さ」と題して、社会を明るくする運動作文コンテストに応募し、見事、愛知県保護司会連合会長賞を受賞しました。

碧南保護区保護司会碧南支部では、今年も７月７日㈯に市の更生保護女性会やボランティアの中学生とともに、市内の大型店舗で街頭啓発活動を行います。市内中学生から公募した標語入りハンドタオルやリーフレットを配布します。声をかけられたら、是非受け取ってください。一緒に、犯罪や非行のない安全安心な地域社会を築いていきましょう。

社会を明るくする運動 標語作品入賞者

（敬称略）

最優秀賞

スマホには　映っていない　身の危険　　大西　瑛尋（西端中２年）

優秀賞

あいさつは　心と心の　ハイタッチ　　中澤啓太郎（新川中３年）

友達と　遊んでいるのに　スマホなの？　　齊藤　章貴（東中　１年）

入選

無視するな　お年寄りには　優しさを　　鈴木　皓陽（新川中３年）

「ありがとう」　素敵な言葉で　咲かす花　　髙松　理椰（新川中３年）

「助けて」の　仲間の声を　聞き取って　　杉浦あおい（中央中３年）

ボランティア　地域でつくる　優しい町　　角谷　笑真（中央中２年）

ラインより　家族と会話　楽しもう　　浅井　美敬（中央中２年）

「死ね」なんて　そんな簡単に　言わないで　　小笠原優衣（東中　３年）

釣られるな　旨いエサには　針がある　　淺岡　美月（東中　３年）

万引きは　家族の信頼　盗んでる　　長谷川　響（東中　２年）

あいさつで　地域の笑顔　ふやしてく　　新実　心春（西端中１年）

ためらって　言えない君も　同じ罪　　鳥居　巽（西端中１年）

碧南保護区保護司会碧南支部長賞

画面ごしの　見えない恐怖　気がついて　　大嶋日向子（新川中３年）

つなぐなら　悪の輪よりも　人の和を　　岡本　恵汰（中央中２年）

考えて　どれだけ家族　悲しむか　　岩瀬　賢人（東中　３年）

スマホより　仲間の優しさ　見てみよう　　内田　浬央（東中　１年）

ネットから　流れる情報　それホント？　　藤田　志　（西端中３年）

碧南市更生保護女性会長賞

あいさつで　笑顔と言葉の　花が咲く　　山本　梓巴（新川中３年）

ボランティア　地域の笑顔　あふれだす　　向井　柊貴（東中　３年）

ガマンせず　さけべ！たよれ！　たすけるよ　　服部　友香（東中　３年）

ネットより　ちょくせつ話す　それが友　　杉浦　大樹（東中　１年）

「どうしたの？」　なにげない言葉で　救われる　　柴田　栞汐（西端中３年）